

## 議 会 答 弁 実 録

会期： 平成 20 年 2 月予算特別委員会 会派： 05 自民  
日程： 2008/03/14 質問者： 石橋 良三  
発言順： 15 午後 1 番 質問番号： 1-(1)  
担当部局： 15 地域振興部 答弁者： 20 地域振興部長

**タイトル： 市町村合併に対する県民の感想について**

**問：**

本県は、地方分権型社会の実現という理想を掲げて、全国のトップランナーとして市町村合併を進めてきたが、全国を見ると、まだまだ市町村合併が進んでいない県もあるし、道州制の見通しすらたっていない状況にある。

合併に伴う優遇策を得るため、限られた時間の中で、「まちづくり」について、十分に議論が尽くされないまま、急いで合併を推進し、得るものもあったでしょうが、地域の文化の継承など、失うものもたくさんあったのではないか。

実際、広島県民自身が、今回の合併について、どのような感想をもっているかと把握しているのか、地域振興部長に伺う。

**答：**

本県におきましては、合併によりまして、市町の行財政基盤が拡大し、県からの権限移譲が進む中で、住民サービスや利便性の向上が図られ、市町の組織体制も少しづつ整備され、県民の評価もなされつつあると考えております。

また、合併市町は、厳しい財政状況の中にあつて、行財政運営の効率化を図りながら、財政構造の健全化に努め、地域の自治活動の促進や新たなまちづくりに取り組まれ、将来にわたり、持続的な行政サービスの提供と地域の活性化が図られるよう、懸命に努力をしておられます。

こうした取組の積み重ねによりまして、住民の皆様の理解の理解がすすむものと考えております。